

平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社リンクバル 上場取引所 東
 コード番号 6046 URL http://linkbal.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉弘 和正
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部 本部長 (氏名)金田 好生 (TEL)03(6222)6827
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	1,265	33.3	241	158.6	271	145.0	167	146.6
28年9月期第2四半期	948	15.3	93	△53.8	110	△45.4	67	△45.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	51.45	—
28年9月期第2四半期	20.86	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	1,735	1,219	70.2
28年9月期	1,495	1,051	70.3

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 1,219百万円 28年9月期 1,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,667	24.4	380	29.1	407	30.9	237	24.9	72.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年9月期2Q	3,250,000株	28年9月期	3,250,000株
29年9月期2Q	35株	28年9月期	—株
29年9月期2Q	3,249,968株	28年9月期2Q	3,250,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府による景気対策や日銀の金融緩和政策等を背景に、企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、又、個人消費も持ち直しの動きが見られる等、引続き緩やかな回復基調にて推移しました。

一方、米国新政権発足による政策等の流動化、欧州主要国の不確実性の高まり、中国経済の成長率鈍化傾向等により、内外経済環境は、先行き依然として不透明な状況下にて推移しました。

このような状況の下、当社は、前期に引き続きサイト運営方針を「開催エリア拡大」「イベントカテゴリ拡大」「イベント掲載数拡大」とし、事業推進いたしました。当四半期はサイト上に2月の一大イベントである「バレンタインデー」をテーマにしたイベントや、「ゴルフ」や「山登り」といった同じ趣味を持つ方へ向けた交流イベントの特集ページを設置し、当社ならびに他社が開催するイベント掲載数の増加を図りました。特にバレンタインデー特集ページには多くのイベントが掲載され、イベントへの参加者数が順調に増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高は1,265,153千円（前年同四半期比33.3%増）となりました。一方、損益面では、他社が主催する街コンイベントからの集客手数料収入が好調に推移したことに加え、販売費及び一般管理費において、当初予定していた人件費や採用費の一部が未消化となったことから、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,023,362千円（前年同四半期比19.6%増）となった結果、営業利益は241,790千円（前年同四半期比158.6%増）となりました。経常利益は、保険解約返戻金27,542千円を計上したこと等により271,285千円（前年同四半期比145.0%増）、四半期純利益は167,218千円（前年同四半期比146.6%増）となりました。

なお、当社はインターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービスごとの取組みは以下のとおりであります。

(イベントECサイト運営サービス)

当第2四半期累計期間においては、街コンジャパンへのイベント掲載数、街コンジャパン会員数、イベント参加者数とも順調に推移いたしました。当社が手がけるイベントとしては、引き続き映画好きや海外ドラマ好き、アニメ好きな方を対象にしたイベントの人气が高く、東京を中心に、大阪、名古屋、広島、福岡など、全国複数の主要都市で開催いたしました。また、新しい取り組みとしてプロバスケットボールチームとコラボレーションしたイベントや日本酒をテーマにしたイベントなども話題となりました。他社が手がけるイベントは、前年好調だった「バレンタインデー」「ホワイトデー」をテーマにしたイベントに加え、「謎解き」「ウォーキング」「料理」「猫好き」「音楽フェス好き」といった同じ趣味をもつ方の交流イベントである「趣味コン」の掲載数が増え、参加者数も増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間におけるイベントECサイト運営サービスの売上高は1,209,614千円（前年同四半期比29.6%増）となりました。なお、売上の内訳は、当社が主催する街コンイベントによる売上高が670,992千円（前年同四半期比2.4%増）、他社が主催する街コンイベントによる売上高が501,587千円（前年同四半期比93.6%増）、当社が主催する街バルイベントによる売上高が36,878千円（前年同四半期比96.1%増）、他社が主催する街バルイベントによる売上高が154千円（前年同四半期比20.8%減）となりました。

(WEBサイト運営サービス)

当第2四半期累計期間におけるWEBサイト運営サービスの売上高は55,539千円となり、前年同四半期比259.3%増となりました。

WEBサイト運営サービスの1つである「恋学」サイトでは、サイトの利便性の向上と新規ユーザーの増加を目的とし、サイトリニューアルを実施いたしました。また、前四半期に引き続き当社のオリジナルコンテンツ制作を強化した結果、ページビュー数は順調に推移しました。それに伴い広告販売が順調に推移したことから、WEBサイト運営サービスの売上高の増加に寄与しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は1,735,550千円となり、前事業年度末に比べ239,885千円増加いたしました。これは主に、保険積立金の減少が32,505千円、有形固定資産の減少が1,772千円、無形固定資産の減少が2,084千円あったものの、現金及び預金の増加が161,307千円、預け金の増加が75,000千円あったことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は516,401千円となり、前事業年度末に比べ72,703千円増加いたしました。これは主に、預り金の減少が9,841千円、未払消費税等の減少が13,049千円あったものの、買掛金の増加が18,912千円、未払金の増加が19,232千円、未払法人税の増加が37,731千円、賞与引当金の増加が19,748千円あったことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,219,148千円となり、前事業年度末に比べ167,182千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加167,218千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末から236,307千円増加し、1,400,570千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動から得られた資金は216,003千円(前年同期は38,959千円の収入)となりました。これは主に、未払消費税等の減少額が13,049千円、法人税等の支払額が79,290千円となったものの、税引前四半期純利益が270,055千円、賞与引当金の増加が19,748千円、未払金の増加額が19,232千円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動により得られた資金は20,340千円(前年同期は8,510千円の支出)となりました。これは主に、敷金の差入れによる支出が6,935千円となったものの、保険積立金の解約による収入が32,505千円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動により使用した資金は36千円(前年同期はなし)となりました。これは、自己株式の取得による支出が36千円となったことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、平成29年4月28日の「平成29年9月期第2四半期(累計)の業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想修正に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,164,263	1,325,570
売掛金	10,363	22,307
未収入金	107,952	115,647
その他	21,131	108,055
流動資産合計	1,303,710	1,571,581
固定資産		
有形固定資産	68,389	66,616
無形固定資産	7,901	5,817
投資その他の資産	115,663	91,534
固定資産合計	191,954	163,968
資産合計	1,495,664	1,735,550
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,231	31,143
未払金	128,306	147,538
未払法人税等	83,420	121,151
未払消費税等	34,027	20,977
前受金	30,960	27,088
預り金	58,596	48,755
賞与引当金	10,858	30,606
その他	62,925	66,677
流動負債合計	421,325	493,938
固定負債		
資産除去債務	22,372	22,462
固定負債合計	22,372	22,462
負債合計	443,698	516,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	281,000	281,000
資本剰余金	276,000	276,000
利益剰余金	494,966	662,184
自己株式	—	△36
株主資本合計	1,051,966	1,219,148
純資産合計	1,051,966	1,219,148
負債純資産合計	1,495,664	1,735,550

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	948,906	1,265,153
売上原価	294,060	302,535
売上総利益	654,845	962,617
販売費及び一般管理費	561,362	720,826
営業利益	93,483	241,790
営業外収益		
受取利息	131	41
保険解約返戻金	17,010	27,542
債務勘定整理益	—	1,906
その他	91	5
営業外収益合計	17,232	29,495
営業外費用		
支払手数料	—	0
営業外費用合計	—	0
経常利益	110,716	271,285
特別損失		
固定資産除却損	—	1,230
特別損失合計	—	1,230
税引前四半期純利益	110,716	270,055
法人税、住民税及び事業税	44,795	112,310
法人税等調整額	△1,882	△9,474
法人税等合計	42,912	102,836
四半期純利益	67,804	167,218

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	110,716	270,055
減価償却費	8,054	6,470
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△938	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	80	19,748
受取利息及び受取配当金	△131	△41
保険解約返戻金	△17,010	△27,542
売上債権の増減額(△は増加)	4,339	△11,944
未収入金の増減額(△は増加)	2,316	△7,694
仕入債務の増減額(△は減少)	3,783	18,912
未払金の増減額(△は減少)	14,456	19,232
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,407	△13,049
前受金の増減額(△は減少)	△10,674	△3,871
預り金の増減額(△は減少)	3,018	△9,841
その他	△5,278	7,277
小計	101,326	267,710
利息及び配当金の受取額	131	41
保険解約返戻金の受取額	17,010	27,542
法人税等の支払額	△79,507	△79,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,959	216,003
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,918	△3,842
無形固定資産の取得による支出	△950	△1,552
敷金及び保証金の差入による支出	—	△6,935
敷金及び保証金の回収による収入	—	165
保険積立金の積立による支出	△4,641	—
保険積立金の解約による収入	—	32,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,510	20,340
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	30,449	236,307
現金及び現金同等物の期首残高	929,745	1,164,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	960,194	1,400,570

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

当社は、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。